

# 北九州市立横代中学校PTA

## 子ども達の笑顔のために

所在地: 福岡県北九州市小倉南区横代北町三丁目5番1号  
生徒数: 298名 (11 学級)

### 学校の特徴

昭和51年4月に開校され、これまでに42回の卒業生、約5754名が巣立つ。  
北九州市内では唯一の「一小学校一中学校」の地域である。

### 地域の特徴

豊かな自然に恵まれている一方で、九州縦貫道や北九州都市高速道路、JR各線など交通の便にも恵まれている。PTAと学校、地域が一体となって青少年の健全育成等、地域の活動も盛んなところである。

### 活動内容

地域の定例会議と本部役員で企画立案し、活動の主体は5つの委員会が自主的に行う。毎年1月に実施する横代っ子を育むつどい(どんど焼き)をはじめ、様々な地域行事に地域住民と小学校・中学校の児童生徒が積極的に参加している。

## よこしろ防災チャレンジ

平成25年から小中合同防災訓練を土曜日授業で実施。小倉南警察署、小倉南消防署などの公的機関に協力していただき、あわせて防災教育の知識、経験を有する福岡県内外のNPO法人、一般社団法人及び北九州市立大学の教員や学生の方々などの支援を受けながら様々な団体、機関が連携し実施している。

- ◆朝の登校時に一斉メールによる「避難勧告発令」の情報を伝え、児童生徒は地域の方々から声をかけながら指定の避難場所である「横代小学校」及び「横代中学校」に避難。
- ◆中学1年生と小学5年生が行う、校区内の危険な場所や安全な場所及び消防団や福祉避難所・消火栓など**災害時に役に立つ所等のポイント**を回るスタンプラリー「**プラヨコシロ**」。
- ◆中学2年生と小学6年生は避難所において、上手にコミュニケーションが取れるようにするために**チームとして動くこと**のスキルアップ「**Bousai運動会**」の実施。
- ◆小学4年生は、横代校区での**災害の体験談**、消防士による**AEDと消火器の使用法**及び**けが人等の運搬方法の訓練**の実施。
- ◆中学3年生は、小倉南障害者地域活動センターにおいて**車椅子を押して避難を支援**する訓練と、小学3年生に避難所に入れない場合に使用する可能性がある**テントの建て方**を、小学1・2年生に災害時に使用できる**新聞紙のスリッパ**や**ゴミ袋のポンチョの作り方**を指導。



### 地域団体と連携した取組

- ◇伝統文化「横代神楽」「しびきせまつり」の継承
- ◇横代校区まちづくり協議会が実施する、横代っ子を育むつどい(どんど焼き)では、餅つきなどの地域活動に小学校・中学校の児童生徒、保護者が積極的に参加
- ◇健全育成活動として、横代校区まちづくり協議会等と連携しながら、指導厚生委員会が中心となって、夜間パトロール活動を年6回実施

### その他の取組

- ◇週1回、PTA役員及び会員が、学校正門で教員とともにあいさつ運動を実施
- ◇中学校の校長を講師に招き、家庭教育・進路学習に対する認識を深め、我が子への支援をする手だてを学ぶ家庭教育学級の実施

### 成果と課題

平成25年から毎年取り組み、参加者も増え続け今年度は約1500人の参加があった。児童生徒のみならず、PTA会員、地域の方々の意識も高まってきている。「自分の命は自分で守る」という意識が徐々についてきたと感じる。今後の課題として、より成果を上げるためには日常生活におけるちょっとした防災の継続的な取組が必要である。

【福岡県教育庁教育振興部社会教育課】



# 唐津市立打上小学校育友会・後援会

## 地域に開かれ保護者・学校の活動が更に充実した取組

所在地:佐賀県唐津市  
全校児童数:137名

<b>学校の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校教育目標をもとにした「げん気・やる気・がまんの気」を合い言葉に、「子どもも教師も笑顔で、日々感動のある学校」をめざしている。</li> <li>・保護者や地域の方の協力のもと、「読書の生活化」や「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励、心を落ち着かせる「立腰」の推進に取り組んでいる。</li> <li>・児童は、各学年20名前前で、友達同士だけでなく、縦割り班で行う遊びや掃除、集団登下校を通し、異学年や地域の方とのつながりも強い。</li> </ul>
<b>地域の特徴</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山やため池、田畑、川など自然が豊かな「上場台地」の上に位置し、水稻、葉たばこ、みかん、いちご、野菜などが栽培される農村地域である。</li> <li>・学校教育への関心が高く、協力を惜しまない地域の方が多く、昔から、「和」を大切にする篤実な風土が醸成されている。</li> <li>・名護屋城址や呼子港などの観光地に近く、道路やスポーツ施設が整備されたことから、スポーツを楽しむ人口が増えてきている。</li> </ul>

<b>活動内容</b>	<p style="text-align: center;"><b>保護者と教職員の教育活動を地域全世帯が支える取組</b></p>
-------------	--

### 育友会(全保護者と全教職員で組織)

- ・児童の「げん気」へ……………「生活リズム点検表」の活用など
- ・児童の「やる気」へ……………「家庭学習の手引き」の活用など
- ・児童の「がまんの気」へ……………心を落ち着かせる「立腰」教育など
- ・ベルマーク回収やノーテレビノーゲームデーへの取組
- ・保護者と児童、地域の方々、全教職員で行う行事の充実(除草作業・運動会など)
- ・学年ふれあい活動の充実(担任、役員協働によるよりよい活動にむけた取組)
- ・授業参観での取組(保護者と一緒に考える授業、保護者との共同作業がある授業)
- ・唐津市教育の日の充実(教育講演会やミニバレーボールクラスマッチの開催)
- ・朝のあいさつ運動、毎週金曜日の読み語り、田植え・稲刈り体験活動、交通安全普及活動
- ・ホームページ・フェイスブック・広報紙による多様な広報活動など



### 活動支援

### 資金援助

### 運営協力

### 後援会(地域の全世帯で組織):育友会の支援組織

#### 【後援会の主な支援内容】

- ・児童の給食費、育友会費を後援会が徴収……………徴収率100%
- ・育友会の活動資金を、児童がいない家庭も含めた全世帯から拠出…活動資金援助
- ・後援会の役員会が、育友会の活動及び会計を監査……………運営協力・企画立案補助
- ・入学式、卒業式、運動会、授業参観、学校評議員会など、主要行事への参加

### 成果

- ・後援会の協力・支援活動により、給食費未納者ゼロといった地域の課題解決につながった。
- ・地域と保護者の方々のご理解とご協力で、学校や教師との信頼関係も構築されている。
- ・役員の発案により、協力体制を更に強化する仕組みづくりがなされ、主体的に「各部活動」の維持・向上が図られている。
- ・役員の改善策の提案や声掛けにより、ミニバレーボール大会や教育講演会の参加者が増え続けている。

### ○地域と連携した地域に根ざした取組

#### 【公民館が主催する体験活動との連携・協力】

公民館行事に協力し、育友会会長、保護者、教職員も加わり、児童が2泊3日、公民館に寝泊まりして、通学するなどの体験活動を実施。

#### 【学習会や地区のサマースクールへの連携・協力】

地域の方々と連携し、旧中学校校舎において、地域の方が開く学習会へ参加したり、地区ごとに開催するサマースクールで教えてもらったりする。

### ○その他の育友会の主体的な活動

体育環境部・母親部・研修部の3専門部が「各部活動」として主体的に工夫して活動している。

- ・ベルマーク回収・運動会・バザー・ミニバレー大会
- ・研修旅行、給食試食会・教育講演会・給食エプロン修理・広報紙「浄庵」の発行など。



除草作業



ミニバレーボール大会



田植え体験

### 課題

- ・校地の面積が広い一方で、世帯数が少なく、除草作業に時間が掛かるなど、協力体制の維持、拡大と効率化について考えていく必要がある。

【佐賀県教育委員会学校教育課】

# 松浦市立青島小中学校PTA

～学校・保護者(家庭)・地域が一体となって育てる青島っ子～



## 学校の特徴

明治8年に小学校、昭和22年に中学校が開設された、歴史のある学校である。昭和53年に、小学校が完全複式学級となる。保育所から中学校までを変わることなく全員一緒に生活することにより、仲間意識が強く協力的である。不登校や顕著な問題行動を起こす児童生徒はいない。



## 地域の特徴

地域の方々は「子どもは島の宝」という意識が強く、様々な学校行事で協力を惜しまない。地域全体で子どもたちをほめたり叱ったりして、子どもの育成に努めている。また、地域の全ての方がPTAの「準会員」として登録し、年間1000円の出資を行い、学校教育の支援も行っている。



## 活動内容

保護者が8世帯と少ないが、PTA会長を中心に保護者全員が学校行事に参加し、協力しながら運営を進めている。なお、PTA総会には全保護者・全教員が出席し、会員の意見等を吸い上げながら進めている。活動では学校のみならず、地域の活性化という視点も考慮し、進めている。

### 地域・各種団体と一体化した活動

- 全保護者での様々な活動への取組
- 地域や各種団体と連携した活動の展開

- ・デイサービスと連携したお花見会・節分集会
- ・月1回の神社清掃、育成会と連携した少年消防クラブの活動
- ・地区の熟練者を招いての芋植え・芋ほり
- ・島の観光資源である海岸の清掃及び害獣駆除
- ・島民全員参加の運動会
- ・地区を盛り上げるイルミネーションの設置協力
- ・毎月母親部で公園の安全点検・草刈り



### あいさつ日本一運動

- 毎週火曜日港でのあいさつ運動
- あいさつハイタッチ運動  
地域、保護者も協力している。
- あいさつサポーター制度  
地区に会員を募集し、活性化を図る。



### 島ぐるみの健康増進活動

- 青島健康カレンダーの製作、配布  
カレンダーの中に、健康増進についてのメッセージや学校の行事、児童生徒の誕生日等が記入されている。
- 児童・生徒、保護者対象のメディア講習会の開催
- 虫歯の治療率100%達成



### 成果と課題

学校、保護者(家庭)、地域が一体となって、様々な行事を共に活動することにより、地域全体が児童生徒の育成に励む素地ができています。しかし、児童生徒の減少は今後も進み、PTA会員数が減少する。小規模化に対応する今後のPTA活動の工夫がより一層必要になる。

所在地 長崎県松浦市星鹿町青島免701番地  
児童生徒数 小学校10名 中学校5名 計15名

【長崎県教育庁 生涯学習課】



# 天草市立倉岳小学校PTA

## 自分が好き 学校が好き 倉岳が好き

<Love myself, our school and Kuratake to make my dream come true>



学校の特徴	平成20年に3校(浦小学校・棚底小学校・宮田小学校)が統合開校し11年目を迎える。「学校、家庭、地域が連携・協働して、倉岳町全体で子どもの夢を実現する」を学校教育目標とし、地域とともにある学校づくりに取り組んでいる。
地域の特徴	校舎の北側には天草のアルプスと言われる倉岳、東南には不知火海を臨み、「校舎から海が見える」豊かな自然に恵まれた地域である。「自分が好き、学校が好き、倉岳が好き」を保護者・学校・児童の共通スローガンに位置付け、地域に根ざした教育活動を展開している。
活動内容	PTA、学校、地域が一体となって、子どもの健全育成のため、定期的挨拶運動、交通安全、防犯パトロールの他、福祉活動やボランティア活動を支援している。最近では部活動社会体育化に向けて「倉岳ジュニアクラブ」を設立し、移行することができた。

### 特徴的な活動

#### 〈子ども民生委員〉

H28年度から天草市より「子ども民生委員」が4年生以上の全児童に委嘱されたことに伴い、社会福祉協議会と連携して、地域の独居高齢者宅を訪問する活動を行っている。

#### 〈倉岳ジュニアクラブ〉

県や市の部活動社会体育化移行の方針を踏まえ、地域の既存のクラブと連携して「倉岳ジュニアクラブ」を設立し、H30年度から7つのクラブで実施している。



### 地域住民と連携した取組

#### 〈「宮田棒踊り」・「えびす太鼓」の継承〉

地域の伝統文化である「宮田棒おどり」、「えびす太鼓」を学習に取り入れ、地域の人材を活用して練習し、運動会や文化祭で披露している。



#### 〈農業体験活動〉

JAの協力による米作りや地域の協力による茶摘み、芋作りなど多くの農業体験活動を行っている。H29はできたもち米を被災地の小学校へ応援米として贈った。



#### 〈赤ペン先生・読み聞かせ〉

低学年の学習支援として、毎週木曜日の夕方30分間、地域の方に協力していただき、国語や算数のドリルの丸付けを「赤ペン先生」と称して実施。また、毎週木曜日の朝には15分間の読み聞かせを全学級で行っている。



### 成果と課題

- ・「子ども民生委員」としての活動を通して、子どもたちに地域社会の一員としての自覚が育ち、地域の方に思いやりの心を届ける様々な取組みにつながっている。
- ・学校運営協議会を基盤に、各種研究大会や地域の公民館講座等でPTAの取組みを発表したり、学校の研究発表会を協力したりするなどして、地域住民の協力体制の強化を図られた。

熊本県天草市倉岳町  
全校児童数：106名



【熊本県教育委員会社会教育課】



# 由布市立由布川小学校PTA

## みんなの“できる”を紡いで ひろげよう 協育の“わ”

～「つながる」PTC大作戦～

所在地：大分県由布市挾間町古野 2 1 1 番地の 1  
児童 4 1 3 名

<b>学校の特徴</b>	明治 7 年赤野学校が開校され、その後由布川小学校となる。今年で開設 1 2 6 周年を迎え今に至る。昭和 4 0 年代には過疎化の波が押し寄せ、一時減少したが、大分市周辺地域の開発や大分医科大学（現大分大学医学部）の開校にあわせた団地の造成などにより児童数が増えてきた。「自ら考え、思いやりとたくましさを身につけた子どもの育成」を学校教育目標に掲げ教育活動を進めている。
<b>地域の特徴</b>	由布市挾間町は、大分市に隣接するベッドタウンとして今なお人口が増加している地域である。校区内にはいくつかの団地が造成され、昔から住んでいる人と新しく定住した人とが混在した地域となっている。また、校区内に大学医学部があることから、学生や病院関係者も多く住んでいる。
<b>活動内容</b>	◇子どもの基本的な生活習慣、学習習慣の確立に取り組む。 ◇保護者同士がつながり、結びつく。 ◇子どもの安全を守る。 ◇地域を知り、地域に学び、地域とつながる。

### 特徴的な活動・運営体制

PTC・・・「P」は保護者、「T」は学校、「C」は地域を表します。

PTCそれぞれが、ばらばらに活動するのではなく、「できる」ことをあわせて、紡いでいく

#### ○保護者企画「“夢”授業」の実施

- ・研修部（学級役員）が中心となり、子どもたちに「学ばせたいこと」や「伝えたいこと」、「出逢わせたい人、もの、こと」をテーマにした授業を企画し、保護者や地域の方が先生となった「“夢”授業」の実施。

#### ○プラス ONE 活動

- ・PTA テーマに沿った専門部（研修部・母親部・保体部・広報部・生活指導部・なすびの会[親路（おやじ）の会]）の活動に加え、毎年プラス ONE の創造的な活動を企画。（「安全マップ」と親子で取り組む「由布川っ子ルール」の作成・配布など）

#### ○ポイント制の導入（PTA 活動のてびき作成・配布）・・・PTA 活動の活性化

- ・PTA 活動の「見える化」を図るために、役員や各種研修等への参加にポイントをつける。
- ・PTA 活動の一つの指標として、一人の子どもに対して「6 年間の累計ポイント＝2 0 ポイント以上」を目標に活動する。

### 成 果

- ・学校運営協議会との連携強化により、学校・保護者・地域との距離が縮まり、地域の方の理解が深まり、地域の協力も得た PTA 活動・子どもの学びにつながった。
- ・プラス ONE 活動・ポイント制の導入により、創造的な活動の実施や自分の PTA 活動への係わり方が「見える化」され、計画的に係わる保護者が増え、PTA 活動が活性化してきた。



#### ○学校運営協議会との連携強化

- ◇“夢”授業への協力や講師の依頼要請
- ◇ゲストティーチャーの発掘、依頼
- ・各教科や総合的な学習の時間への地域人材や学習ボランティア探しをお願いする。



#### ○伝統文化の継承

- ◇「やせうま」発祥の地として、起源の学習や作り方の伝承
- ◇夏祭りへの参加

#### ○その他の活動

- ◇登下校の見守り
- ◇夏季休業中の自習室解放
- ◇講演会・研修会の開催
- ◇読み聞かせ活動

### 課 題

- ・ゲストティーチャーとしての連携にとどまらず、地域人材の魅力をさらに生かした活動や運用を検討していく必要がある。
- ・ポイント制の是非とさらなる PTA 活動の活性化に向けた話し合いを今後どう進めていくか。



# 日南市立大窪小学校PTA

## <小さいからこそキラリと光る学校・PTA

所在地：宮崎県日南市

全校児童数：5名

学校の特徴	明治6年に開校し、創立145周年を迎える。周囲を豊かな自然に囲まれた、全校児童5名の極小規模校である。地域の方の協力は教育活動全般において大きく、学校は地域の中核になっている。
地域の特徴	農業（みかん栽培）経営者の多い自然豊かな地域で、地域のほとんどの方が知り合いである。ただし、少子高齢化が進んでおり、未就学児がほとんどいない年齢構成である。
運営体制	PTA戸数が少ないため、PTA役員を輪番制としたり、一人一役での組織を編制したりして工夫した活動を行っている。総会をはじめ、あらゆるPTA行事には全会員で協力して運営している。総会に次ぐ決議機関として運営委員会を毎月開催し、諸課題に素早く対応でき、会員の意見を反映することができる。

### ◎地域の方と連携した活動「大窪フェスタ」

- 地域の方を学校に招待し、児童・PTA・教職員が一緒になって、グラウンドゴルフ大会を行う。
- その後、学習の成果を地域の方に見ていただく学習発表会を行う。
- 当日は、一年間で一番多くの地域の方の来校があり、準備から当日の運営までPTA全会員と職員が協力して活動する。



### 地域との交流活動

### ◎伝統芸能「剣棒踊り」

- 地区の伝統芸能である「剣棒踊り」を全児童に継承させるために、「剣棒踊り」保存会との連携を図り、計画的に練習時間を確保している。
- 運動会や地域の祭、近隣の学校との交流等で披露している。当日の運営などPTAの協力が大きい。



### 成果

- ・すべてのPTA行事に、地域の方の参加や協力があり、地域との関わりが深い。
- ・PTAと職員が連携を図ることで、参観日や学校行事等への参加率は100%である。
- ・地域の伝統芸能や祭りに積極的にPTAが関わることで、地域の活性化につながっている。

### 課題

- ・今後、PTA世帯が年々少なくなっていく中で、PTAの組織編制が困難になることが予想される。
- ・PTA予算が少なくなっていく中で、PTA活動の精選や効率的な活動の在り方など検討が必要である。

# 指宿市立大成小学校PTA

「心やさしくよく学ぶ」ひとみかがやく大成の子の育成を目指して！

所在地：鹿児島県指宿市山川成川3260番地  
全校児童数：247名

学校の特徴	大成小学校は、今年で創立104年目を迎え、その歴史や伝統、文化・校風等を継承発展させてきた。教育目標を「郷土を愛し、生きる力を備えたしなやかな大成の子を育てる」とし、全職員で「生きる力」の育成を理念とした調和の取れた教育の充実を図っている。さらには全職員が新しい時代を展望しつつ子ども愛・学校愛・教育愛に燃え、相互信頼と協働のもと保護者・地域住民の信頼と期待を得られる学校の実現を目指している。
地域の特徴	当地域では火山灰土壌と温暖な気候に恵まれ、ソラマメや、オクラ、スナップエンドウなどの栽培や畜産業が盛んに行われている。また、天然硫黄泉で知られている鰻地区は西郷隆盛も逗留したことで有名である。大成小校区は4地区から構成されているが、校区青少年育成会議や各地区老人クラブ等の団体が自主的・効果的に運営され、地域住民の繋がりも強く校区全体で学校を支えようという風気が醸成されている。

## 特徴的な活動・運営体制

保護者、教職員は3つの専門部会(文化事業部・生活保全部・保健体育部)に分かれて所属し、それぞれが役割を分担し、さらに連携した活動を行っている。

また、会員の総意を反映させるために、総会前に役員会及び2回の総務委員会を開催するなど、会員の意見を次年度の計画に反映させやすい運営に努めている。

なお、新たな活動等を行うときは、必要に応じてアンケート調査を実施するなど、工夫を行っている。

情報発信については、文化事業部が発行しているPTA新聞を活用し、各地区の回覧板を使って、会員だけでなく地域の方にも情報発信を行っている。また、学校のHPにPTA活動を積極的に掲載している。



- ・父親、母親の会である「大成の会」(平成30年度から会名変更)による、積極的な学校の環境改善の取組
- ・子ども会、校区青少年育成会議、消防署主催の少年消防クラブへの協力
- ・中学校と連携した学力向上旬間の取組

### ○地域住民と連携・協働による取組

＜学校応援団の活用と地域の伝統文化の継承＞  
・学校応援団による学習支援、校外活動の支援、学校行事等の支援及び環境整備など、地域総出の支援

・子ども会、伝統芸能保存会、老人クラブ等と協力した地域の伝統文化(成川地区：神舞、大山、小川地区：棒踊り)の継承



### ○「食育」運動の推進

・学校応援団の支援を受け、地元特産のソラマメやサツマイモの栽培活動  
・学校給食をホームページに掲載することによる、家庭での食育や学校に関する話題の提供

### ○その他の活動

教育講演会、家庭教育学級、奉仕作業、山川みたと祭(ハンヤ踊り出演)など

## 成果

- ・会員の声を反映しやすい組織づくり(PTA加入率及び会費納入率100%)
- ・学校と地域コーディネーターとが協議して作成した年間計画を基に、計画的かつ積極的な学校応援団の利用と、多種多様な学校応援団による支援
- ・後継者不足、高齢化等の課題解消の一翼を担う伝統芸能継承活動への参加

## 課題

- ・役員のなり手や、イベント時の参加者の確保
- ・会員の参加意欲をより高めるためのPR方法の模索及びイベント等の構築

【鹿児島県教育委員会社会教育課】





# 糸満市立糸満中学校PTA

## 【PTAでサポートするキャリア教育】

所在地：沖縄県糸満市  
全校生徒数： 441名

<b>学校の特徴</b>	昭和23年に開校し、平成30年度は創立70周年にあたる。糸満市の歴史ある学校の一つであり、糸満ハーレー、糸満大綱引きなど、地域の伝統行事にも生徒達は積極的に参加している。
<b>地域の特徴</b>	昔からの地域住民と、埋め立て地の新住宅地に住む他地区や本土からの移住者も多く在住している地域。地区ごとの伝統行事も多く、近年空港からの道路整備により人口が増加している地区でもある。
<b>活動内容</b>	執行部を中心に、総務・教養研修・文化広報・環境整備・保健体育・生徒指導の6委員会があり、PTA役員は年度初めの役員希望調査にて、自主的に希望した方々から構成されている。特に、キャリア教育に力を入れ活動している。

### 特徴的な活動 <PTAで企画、運営したキャリア教育>

#### H27年度「めざせ！社長講座」

将来のキャリア選択を目的に、一流の弁護士、会計士起業アドバイザーを講師に迎え、生徒向けに講座を開催。



#### H28年度「キラキラ趣味講座」

ネイル、ファッション、ヘアアレンジ、アロマ等生徒に興味のある専門の講師を迎え楽しみながらも進路に役立つプロのテクニックを学べる講座開催。



#### H29年度「中学生起業体験フェスティバル」

進路選択、学習意欲の向上、自尊心の向上、地域連携を目的にインバウンドも含めた「講座・出店・プレゼン大会」の3部構成で行った。講座は会計・プレゼン・広告・パッケージデザイン・中国語・店舗ディスプレイの6講座。参加希望生徒を募り、7チームを構成。糸満大綱引き会場にて生徒が企画した店舗を出店。翌日のプレゼンにて「お金を稼ぐという事は・働く喜び、大変さ」を発表した。PTAでは講座の開催企画運営ほか、フェスティバル当日の準備、安全サポートを行った。



#### 成果

- ・フェスティバル開催に当たり、商工会、地域の自治会等にサポートしてもらった事により、「地域の子どもを地域で育てよう」という意識が高まった。
- ・生徒達の自尊心、キャリア、学習に対する意識が向上した。

#### 【読み聞かせ・糸風の会】

月1回保護者、地域のボランティアの方で読み聞かせを行っている。毎年6月は「慰霊の日」に向けて、朝会で図書委員、三線演奏の生徒達と共に絵本の朗読会を行っている。



#### 【怪我予防の為のストレッチ講座】

保健体育委員会主催による、部活の生徒向け講座を開催。部活動での怪我という課題に対応し、多くの部活生とその保護者も参加している。

#### 【その他の取り組み】

- 生徒指導委員会が学期ごとに地域と連携して夜間パトロールを行っている。
- 広報紙「いちまん」2年連続沖縄県広報紙コンクールにて最優秀賞を受賞。

#### 課題

- ・年々PTA役員のなり手が少なくなっている。
- ・大きな事業の継続が、スムーズに行う事が出来るか等。





文部科学省

MINISTRY OF EDUCATION,  
CULTURE, SPORTS,  
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

